



東松島市立大曲小学校

学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

## 朝会『いじめについて』



4日の朝会では、校長先生から『いじめについて』のお話がありました。いじめについては、これまで、宮城県教育委員会からのいじめ根絶についての通達を保護者の方に配付したり、全校放送、各学級での担任からの指導などで呼び掛けてきました。

今回は、

・いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることという話に始まり、たとえ、自分がいじめようと思っていなくても、相手のお友達が、いやな気持ちになり、いじめられていると感じることは、「いじめになる」ということ。



それを、具体的に、11の例をあげ、言葉や、行為を分かりやすく話しました。

特に、実際に子どもがはやし立てるような、大声や命令口調などもあり、子どもたちは、肩をすくめながら真剣に聞いていました。例えば、

- 「いつもかっばりつけて。何もできないくせに……」
- 「あの人、暗くて、楽しくないから、まぜないようにしよう」
- ・友達のを、かくしたり、捨てたり、落書きしたりする。
- ・パソコンや、携帯電話などで悪口を書いたりする。
- ・メダルをちょうだい……としつこく言う……



このようなことは、絶対にしてはいけないということ。見てみないふり、関心をもたない人もいじめをしている人と同じだということも覚えておいてほしいと話されました。子どもたちは、胸に手を当てて、今まで自分のしてきたことを振り返りました。御家庭でも、無意識のうちに、人の心を傷付けてしまうことなど、話題にしてみてください。尚、子どもたちは、矢本二中学区で実施している、「心あったかイートころ運動」の標語募集に、あいさつ・いじめをテーマに取り組んでいます。\*真剣に話を聞く子どもたち↑

## PTAバレーボール交流会・練習会について

大曲小学校開校60周年記念バレーボール交流会について

すでにお知らせしておりました、標記大会に向けての練習会を明日の夕方7時より行います。当日の飛び入り参加も可能ですので是非おいください。

**合同練習会 平成27年9月18日(金) 午後7時～午後9時まで**

※チーム数は、2～3チームになる予定ですので、集まり次第チーム編成を行います。

また、交流会については、引き続き申し込みを受け付けます。平日のイベントですが、是非参加していただきますようご案内いたします。

記

- 1 日時 平成27年9月25日(金) 午後1時～3時まで
- 2 会場 大曲小学校 講堂

申し込みは、直接電話でも構いません。

大曲小 82-3147 事務長・教頭 坂本までお願いします。



# 祝 開校六十周年 『看板掲示』

9月14日は、開校記念日、大曲小が開校60周年を迎える年でもあります。

今回、地元大曲で書道教室を開設されている、佐々木梢月先生に、西校舎窓に掲示する文字を書いていただきました。

祝 開校六十周年 東松島市立大曲小学校

1文字が模造紙1枚分で、外からも大きく目立ちます。

子どもたちは、窓を見上げながら、指先でなぞったり、空書きしてみたり・・・と、広い意味での書写教育にもなっています。

佐々木先生には、児童の書きぞめ練習の折には、直接指導もいただいています。子どもたちへの御厚意に感謝いたします。

\*写真は、西校舎の看板と、佐々木梢月先生です。→



# 子ども日日新聞記者活動スタート

大曲市民センターで第1回目：編集会議が行われました。大曲小から、6人の豆記者が参加し、12月11日発行の石巻日日子ども新聞（大曲特集号）に向けて、準備を進めます。豆記者のメンバーは、（敬称略）1年・阿部幸達 2年・今野 溢喜 2年・三浦絆那

4年・阿部優羽 5年・小俣翔太郎 6年・小山颯太 です。

プロの編集者の指導を受けながら、どんな記事に仕上がるか楽しみです。

第1回目の活動は、★自己紹介→新聞とは？→どんな取材をする？→質問を考える→練習→まとめという内容で進み、まずは、「大曲小学校が60才なので、60年前に小学生だった人に取材をしよう」ということになりました。次回は、インタビュー大作戦です。\*写真は活動の様子です。↓尚、9月11日号の子ども日日新聞を全校児童分いただきましたので本日配付しました。



# 一生懸命練習しました

八月末から三回にわたって、第八十三回全国書画展覧会に出品を希望する児童の練習会を行いました。放課後の時間でしたが、東松島市書道協会の皆さんの協力をいただき、実りのある練習会となりました。一年生から、全部で二十八点の作品を出品することとなりました。今回は、初めて筆を持つという低学年の児童も意欲的に取り組み、何枚も作品づくりに挑戦していました。実際に手を取ってもらいながら書いてみたり、その場で添削してもらえらることで、自分の課題も分かり、書くたびに少しずつ上達の跡も見られたようです。その日ははじめて、最後に作品を見比べて、振り返りの時間を持ちましたが、「自分の上手になったところ、これからの課題」を見付けることができたようです。学年を超えて、練習したことや、上級生が教えてあげたり、手本を書いてあげたりしたこともいい経験になりました。東松島市書道協会の皆さん、ありがとうございます。尚、主催の広島県熊野町は日本一の筆の産地として有名です。↓

\*写真は活動の様子です。↓



↑練習の成果が見られます。

